

第19回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

—佐倉 草ぶえの丘バラ園と市立美術館—

当番世話人 野田 佑

雲一つない快晴に恵まれた5月20日土曜日、参加者17名が10時に京成佐倉駅に集合し、市営の循環バス（19日よりローズフェスティバル開催中のためバスの中は超満員）を利用して目的地「草ぶえの丘バラ園」に到着。

バラ園を運営するNPO法人「バラ文化研究所」のスタッフの案内で、約1時間半にわたり1万3千平方メートルの園内を見学しました。

ヨーロッパやアジアなど世界各地の約1050種類2500株が植栽されています。その多くが原種という特異なバラ園で、しかもお世話係のほとんどがバラ好きのボランティアでした。これまで見学した「華やかなモダンローズ」を中心とした観光バラ園と異なった好印象を持ちました。

なお、平成25年にはアメリカのハンチントン財団より「殿堂入りバラ園」に選ばれ、平成27年には世界バラ会連合世界大会において「優秀庭園賞」を受賞しております。

昼食と園内散策ののち、タクシーに分乗し佐倉市立美術館に移動。

「浅井忠と弟子たち」の作品展を鑑賞し、最後に「おはやし会館」で、お祭りの山車2体を見学して14時40分無事終了しました。

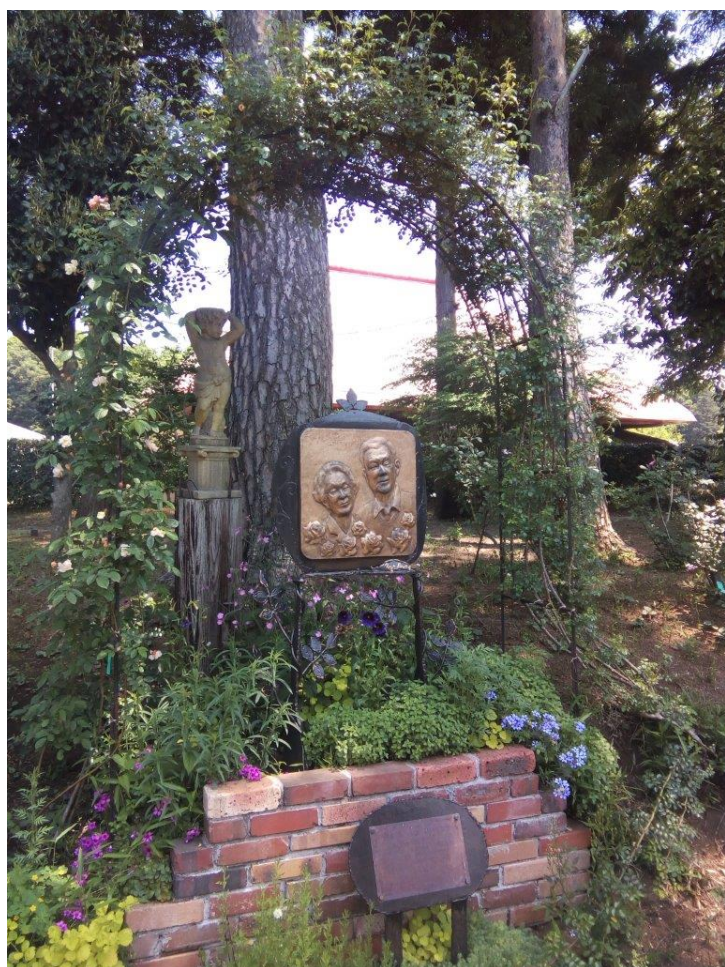
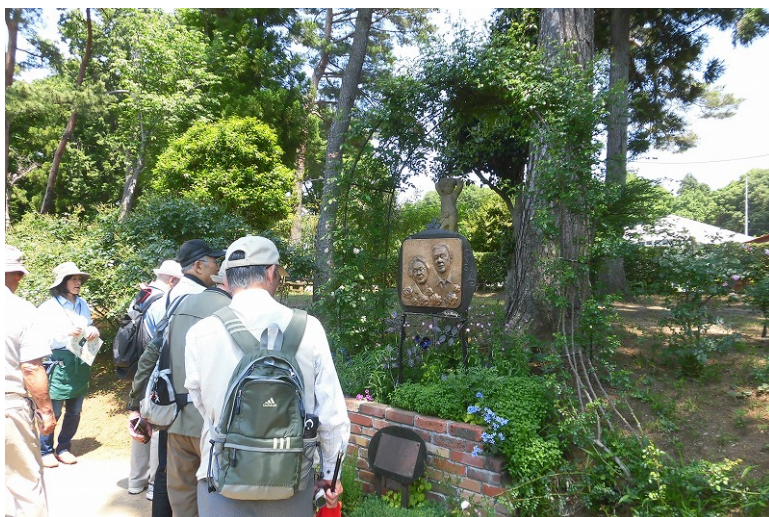
☆ 野田世話人 京成佐倉駅北口で市営循環バス乗車を誘導



☆ 野田世話人 行程案内



☆ 日本の風土に合うバラを
目指して生涯を育成に捧げた
「日本のバラの父・鈴木省三」



☆ 「バラ文化研究所」 スタッフからバラ園内の説明を受ける







参加者（敬称略）17名

岩崎正憲、植野郁夫、宇田川修彦、浦上宜明、遠藤哲也、小澤敏宜、川股賢三、田代 周、西長義方、平木行雄、平木七重、藤井弘道、牧田賢二、宮武 亨、山田昌之、六角 学、野田 佑